

議員名：松尾数則

1 施政方針について

論点	市政運営の基本的なスタンスについて聞く。
回答	協創のまちづくりの理念を尊重しスマイルシティ山陽小野田を市民と共に作り上げたい。行政だけで担えなくなった地域課題を、まちの未来とともに考えながら、力を合わせて取り組んでいき、多くの市民の皆様方に、協創のネットワークに加わっていただき、お住まいの地域に目を向けていただき、市のために何かをしたいという気持ちが芽生えたとき、ぜひともスマイルプランナーに登録いただき、そのような方々がお一人、2人とふえ、そのネットワークが大きく強くなっていく市政運営を目指したい。

論点	行政運営の基本方針について例えば行政が民間企業について参考にすべき点等はないか聞く。
回答	今後も厳しい行政状況が見込まれ、将来にわたり持続可能で市民ニーズに対応した行政サービスを提供するには、経営感覚をもって地域を運営する必要がある、現在平成31年度から4年間を計画期間とする第一次行政改革プランの策定を進めています。経営の視点に立った取り組みを進めます。行政が民間に学ぶ点については、私はそれほど差はない、類似点が多いと思っています。人と人、いいチームを組んで、その組織を運営をすることは、民間も行政も全く同じであり、その根底にあるのが人材育成です。私は効率より効果を重要視し、効率と効果を含めて、バランスよくそれを進めていく、根本は持続可能な企業や地域をつくることです。そのために人が大切であり、人材育成がその基本であると考えております。

2 31年度予算方針について

論点	予算編成におけるスクラップ and ビルドについて考えを聞く
回答	平成31年度予算の基本方針については、限られる財源の中、スクラップ and ビルドを徹底し、事業について、見直しや廃止などを行うとともに、今後実施することが必要な事業におきましても、さらなる精査を行い、事業費全体の削減を図ることで、効果的な施策、事業の展開を図りたい。

3 山口県央連携都市圏域における今後の取組

論点	山口県央連携都市圏域について活力ある社会経済を維持し、拠点を形成することで市民が安心して快適な暮らしを営んでいける手段について聞く
回答	交流人口の創出につながる8つの重点プロジェクトを展開していく。重点プロジェクトには、経営革新・創業促進プロジェクト、新たな広域観光資源創出プロジェクト、農村魅力創出プロジェクト、広域情報発信プロジェクト、広域交通拠点活用プロジェクト、移住・定住プロジェクト、地域人材育成プロジェクト、暮らしの価値創造プロジェクトがあり、それぞれのプロジェクトチームにおいて、事務担当者が参加し、取組を進めていきたい。

4 経済波及効果を考える経営感覚の必要性について

論点	経済波及効果も考慮した経営感覚の必要性について聞く
回答	山陽小野田市の経済活動において企業誘致、焼野海岸一帯の観光地、農産物の開発、販売といった経済波及効果をもたらす事業、地域資源は市内にも多くある。今後の事業展開にしっかり生かしていきたい。

論点	経済波及効果について例えばそれを数値化することは考えないのか。
回答	数値として見える化を図ることは当市においては難しい。その作成方法であるとか、そういったことについても、さらなる研究も当然必要でありますので、そのあたりにつきましては、今後研究をしたい。

1つの論点と回答につき、論点は2行程度、回答は4行程度とする。